

シルバーカー

パレード

〔取扱説明書〕〔保管用〕

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

⚠ この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。（手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人には適しません。）

使用に適しているかどうか不明な場合、必要に応じて専門家（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等）に相談し購入されることをお勧めします。

なお、ご使用になる前に、この説明書の内容をよくお読みいただき、充分ご理解された上、ご使用ください。

目次

警告事項	1	キャスターの操作方法	5
注意事項	1~2	カゴ受けの使用方法	6
各部の名称	3	腰掛け方	6
車体のひろげ方・折りたたみ方	4	傘止めバンドの使い方	6
ハンドルの高さ調節	4	こんな時には	6
駐車用ストッパの操作方法	4	保証書	7
ハンドブレーキの操作方法	5	SGマーク	7
ブレーキの調整方法	5		

この説明書に関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、
弊社サービス係、またはご購入店までお問い合わせください。

ご使用にあたっては、体調の状態により危険なこともありますので、ご自身の体調の状態で使用できるかご判断ください。

加齢等によって歩行機能が低下してこの製品が合わなくなり危険となる場合があります。室内や屋外での移動が短距離でも困難になった場合には、この製品は使用しないでください。また定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか相談し確認してください。

転倒や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

⚠ 警告事項 転倒など重大な事故につながる恐れがあります。

- 自動車、バス、電車内、エスカレーターや階段では使用しないでください。
- 雨、雪、凍結等滑りやすいところでは使用しないでください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ、及び夜間に使用される際は充分注意してください。
- 段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがありますので十分注意してください。また段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に、警報機が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、同伴者付き添いのもと横断されることをおすすめします。
- 車体の組み立ておよび調整は確実に行ってください。
- 使用される前に必ず固定用ロックが確実にかかっているか確認をしてください。固定用ロックがかかっていると車体が折りたたまれる恐れがあり大変危険です。
- 片手で押して使用しないでください。(傘を持ちながら等)
- ハンドルの高さ調節部(左右)が固定されているか確認してください。
- ハンドルに寄りかかったり荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけると、車体のみ前に動き、転倒する恐れがあります。
- 踏み台としては使用しないでください。
- 坂道などの斜面では座らないでください。
- 座面を使用する場合は、必ず駐车用ストッパレバーをかけ、左右両輪に駐车用ストッパがかかっており、車体が動かないことを確認してください。
- 座面以外のところには座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。
- 座面から立ち上がる時は、車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと行ってください。
- 乳幼児や子供に操作をさせないでください。また、座面上に立たせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届くところに放置しないでください。
- 当社のサービス員以外の分解・改造はしないでください。

⚠ 注意事項 思わぬケガをする恐れがあります。

※ご使用前に

- 製品各部を点検し、特にハンドブレーキや駐车用ストッパの左右両輪の性能、タイヤおよびブレーキ金具の摩もう、押したときのグラつきについては十分確認して使用してください。

※ご使用中には

- 用途以外には使用しないでください。
- 火気の近くでは使用しないでください。
- 砂、泥のあるところ、特に水たまりでは使用しないでください。
- 最大使用者体重は 100kg です。ご使用される方の体重が 100kg 以下の方に限ります。必ずお守りください。
- バッグの載荷重は 10kg です。10kg を超える荷物は載せないでください。
- 座面に人を載せたままで押さないでください。
- 乳幼児、動物をバッグ内に乗せないでください。
- 車体の組み立て、折りたたみなどの操作時には乳幼児や子供を近づけないでください。
- 荷物はバッグ内の底部に収納してください。
- バッグ内に荷物を入れたまま、車体の組み立て・折りたたみ操作をしないでください。
- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指を入れたままブレーキ操作をしないでください。
- ハンドブレーキは自動車のブレーキとは構造が違いますので過信しないでください。
- 駐車用ストッパがかかった状態で車体を押さないでください。
- 車体を折りたたむときは、手をはさまないように注意してください。
- 車体からはなれるときは、必ず駐車用ストッパをかけてください。

※保管方法とお手入れについて

- 使用後は乾いた布で水分を取り、日陰で乾かしてください。
- バッグの汚れは、柔らかい布で拭いてください。
- 火の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因になります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で拭きとってください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤で車体・バッグを拭かないでください。
- フレームや車輪は砂や泥などの汚れを付けたまま放置せず、必ず落とししてください。
- 長時間使用しない場合は、汚れを落とし高温多湿の場所は避け、日陰の場所で保存してください。
- 取扱説明書は本体とともに保管してください。
- 寒暖の差が激しいところでの保管は、バッグの変色や硬化、車体の劣化、動作不良などの原因となる場合があります。
- 車輪や車体がきしむときは、連結部等に数滴注油してください。注油後、回転および車体の組み立て・折りたたみ操作を 2～3 回くりかえしてください。
- 非常口、消火器、消火栓の前に放置をしないでください。
- 定期的に各部（タイヤおよびブレーキなど）の破損、ゆるみ、摩耗などがいないかを保守・点検し、必要に応じて調整または交換をしてください。
- 定期的に各部のカシメ鉋、ネジなどがゆるんでいないかを確認してください。

※廃棄について

- 各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。

各部の名称

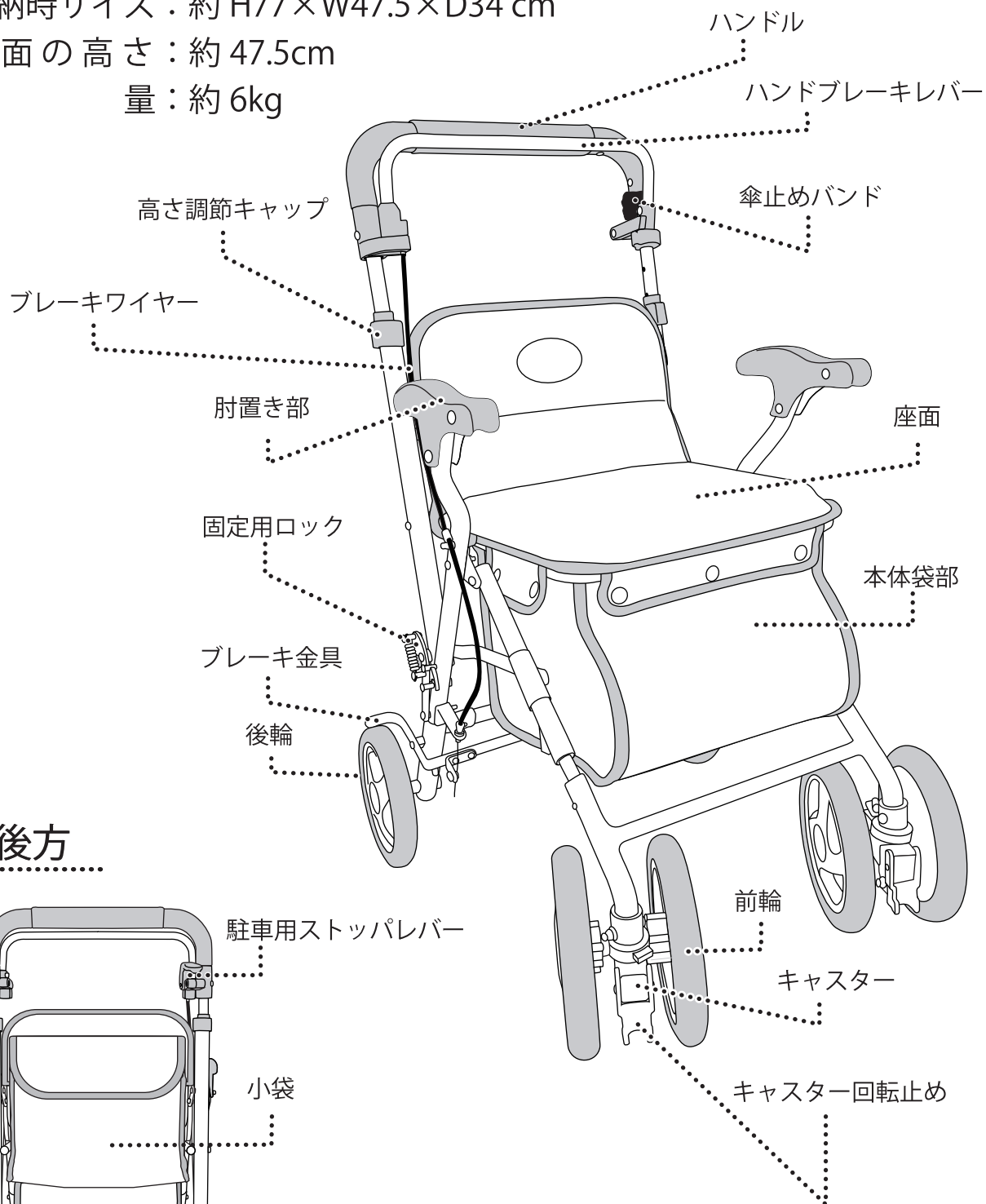
シルバーカー パレード

使用時サイズ：約 H84 ~ 96×W47.5×D61 cm

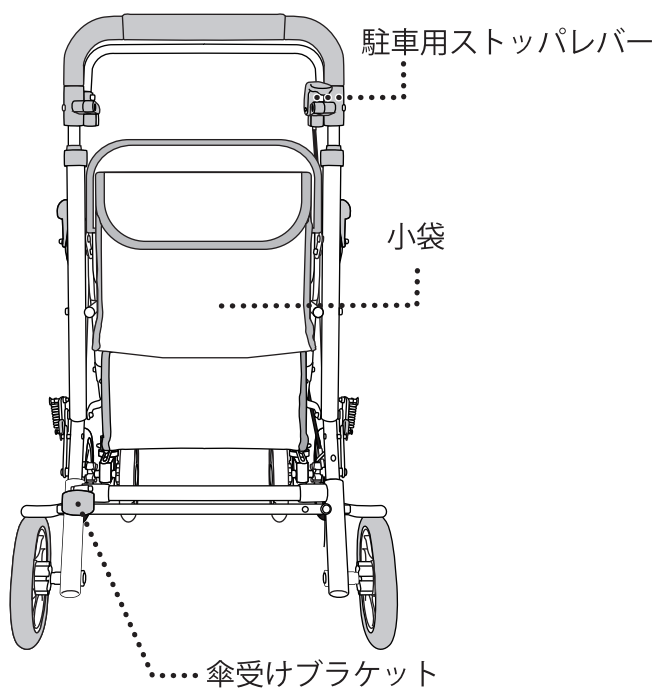
収納時サイズ：約 H77×W47.5×D34 cm

座面の高さ：約 47.5cm

重 量：約 6kg



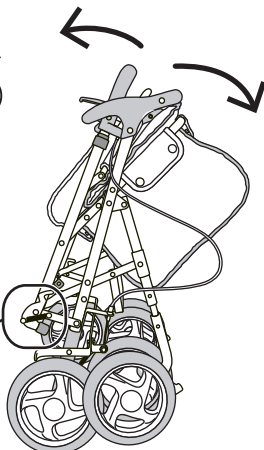
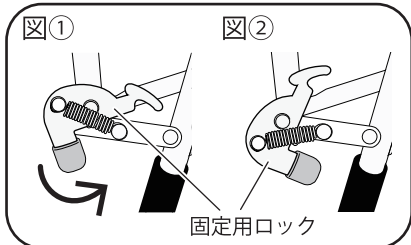
● 後方



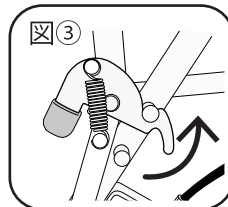
車体のひろげ方・折りたたみ方

ひろげ方

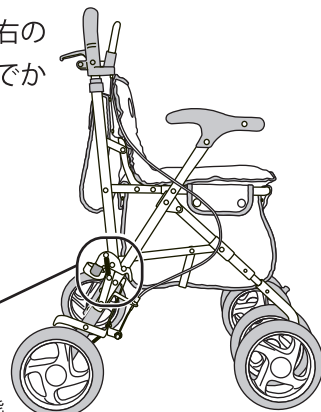
- 1** 固定用ロックを矢印の方向に押しきってください。(図①、図②参照) その後ハンドルと座面を図の矢印の方向にひろげてください。



- 2** 車体をひろげると左右の固定用ロックが自動でかかります。



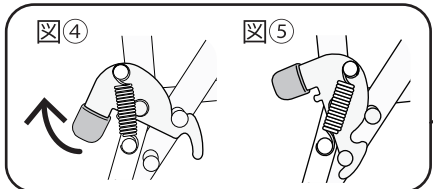
※ロックがかかっている状態



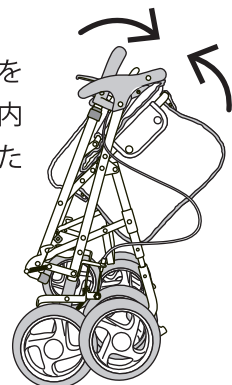
- 注**
- 車体をひろげる際は、必ず **ひろげ方 1** を参照に固定用ロックの位置を十分に確認してからひろげてください。(図①の状態では正しく固定用ロックがかかりません。図②の状態にしてください。固定用ロックがかかっていないとご使用中に車体が折りたたまれる恐れがあり大変危険です。)
 - 車体を間違った状態でひろげてしまった場合、固定用ロックを触らずに、車体を折りたたんだ後、**ひろげ方 1** を参照にやり直してください。
 - ブレーキワイヤーなどが引っかからないように注意してください。
 - 車体をひろげた後、固定用ロックがかかっているか確認してください。(図③の状態を参照)

折りたたみ方

- 1** 折りたたまれる際は固定用ロックを図の矢印の方向に上げ、ピンから外してください。(図④、図⑤参照)

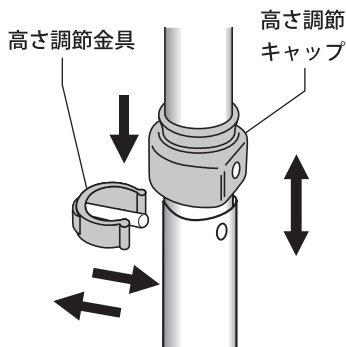


- 2** ハンドルと座面の2ヶ所を持って図の矢印の方向に内側を挟みこむように折りたたんでください。



- 注**
- 固定用ロックが動かない場合は間違ったひろげ方をされています。固定用ロックを触らず、そのまま **折りたたみ方 2** を参照に車体を折りたたんでください。

ハンドルの高さ調節

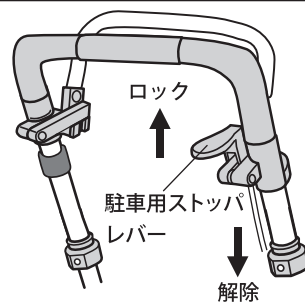


1. 左右の高さ調節キャップを上げてください。
2. 高さ調節金具を抜いてください。
3. 5段階の中から、お好みの高さに合わせて、左右の高さ調節金具をしっかりとめこんでください。
4. 左右の高さ調節キャップを元の位置に戻してください。

- 注**
- 左右同じ高さであることを確認して固定してください。
 - 高さ調節を行う時、高さ調節金具を落とさないように注意してください。
 - ガタつきがないか確認してください。

駐車用ストッパの操作方法

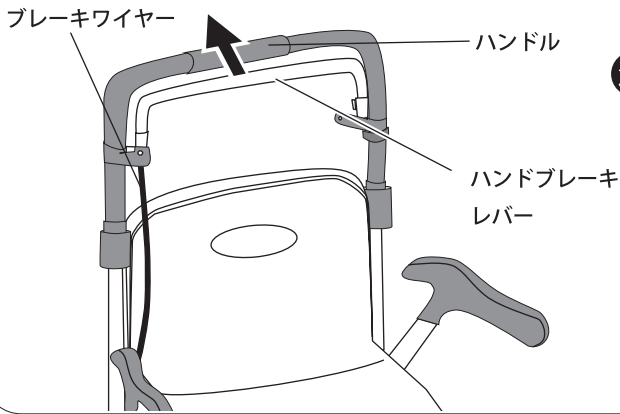
1. 駐車用ストッパレバーを上にあげると、後輪がロックされます。
2. 駐車用ストッパレバーを下に降ろすとロックが解除されます。



- 注**
- 駐車用ストッパのかかった状態(後輪がロックされた状態)で車体を押さないでください。
 - 座る場合や車体からはなれる場合は、必ず駐車用ストッパをかけてください。
 - 構造上、自動車のブレーキのような停止効果はありませんので、坂道などでは腰掛けしないでください。

ハンドブレーキの操作方法

ハンドブレーキレバーをにぎれば、後輪にブレーキがかかります。



注

- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指を入れたまま操作しないでください。
- ブレーキは構造上、自動車のブレーキのようには効かないので過信しないでください。
- ブレーキワイヤーが折れ曲がったりした場合、ブレーキがききにくくなりますのでブレーキワイヤーの交換をしてください。

ブレーキの調整方法

⑤と車輪のすき間が約 3mm 位になるように調整してください。

●ブレーキをきつくしたいときや、反対にゆるくしたいときには①を図 2 を参考にプレートから少し浮く位置に回し、②を回して調整し、調整が終われば図 3 の位置に①を戻してください。

●左の方法で調整が効かない場合は②を始めの状態（ブレーキを調節する前）に戻し、③をゆるめ、⑤を図 1 の位置に近づけた後、④を下方方向に引っ張り、③を締めてください。

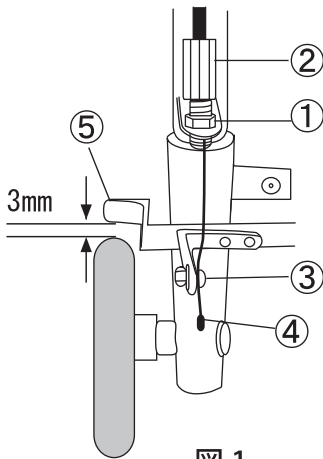
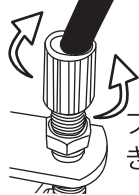


図 1

ブレーキをゆるめる場合



ブレーキをきつくする場合

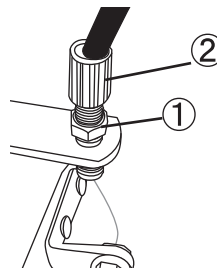


図 2

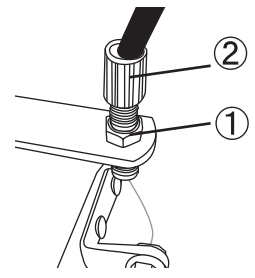
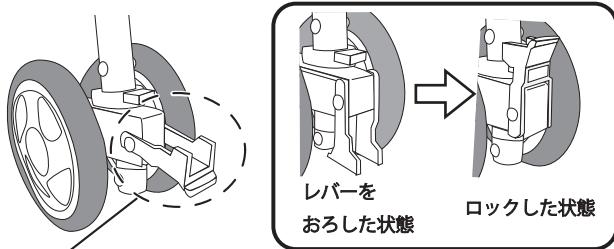


図 3

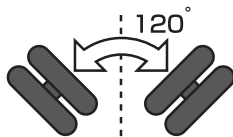
キャストの操作方法

キャスター回転止めレバーを下げて、曲る方向に力を入れると、左右各 60 度の角度で、車輪が方向転換できます。直進状態でキャスター回転止めレバーを上げると、ロックがかかります。（方向転換ができなくなります）



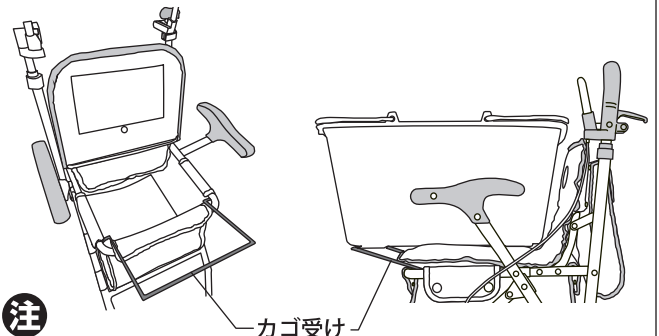
キャスター回転止めレバー

注 ●キャスター回転止めレバーが左右同じ状態かを確認してください。



カゴ受けの使用方法

座面を上げて、カゴ受けを出してください。座面を元の状態に戻してください。座面とカゴ受けの上にカゴを載せてください。



注

- 中央にしっかりとカゴを載せてください。
- 急に曲がるとバランスをくずす恐れがあります。
- カゴ受けを使用される際は、カゴの大きさなどグラつき等がないかをしっかりと確認してください。（カゴの底面の大きさは、縦約 27 cm・横約 40 cm までです）

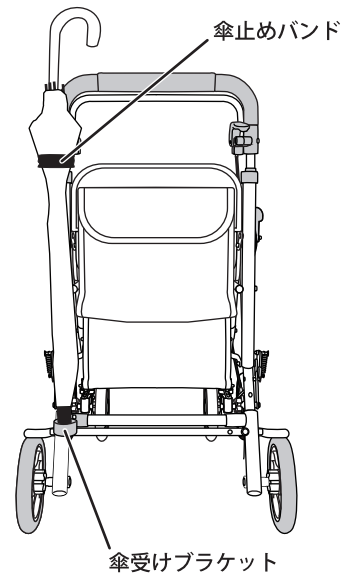
腰掛け方

注

- 車体が完全に開いた状態で固定されているか確認してお座りください。
(P.4 車体のひろげ方参照)
- 腰掛ける時は、必ず駐車用ストoppaをかけてから、均等に体重が加わる様に座面の中央にお座りください。
- 浅く座ったり、後方に力をかけすぎた場合、車体が動いてバランスがくずれの恐れがあります。ご注意ください。
- 坂道など斜面では座らないでください。
- 最大使用者体重は 100kg です。体重が 100kg を超えられる方はご使用できません。
- カゴ受けを出したままでは座らないでください。



傘止めバンドの使い方



傘止めバンドを外して傘先を傘受けブラケットに入れ、傘止バンドを傘に巻いて固定してください。

こんな時には・・・

状 況	原 因	対処方法
ハンドルがグラグラと動く	①ハンドルの高さ調節部がきちんと固定されていない	①ハンドルの高さ調節部分の固定金具が、穴にきちんとセットされているか、確認してください
駐車用ストoppaまたはハンドブレーキが効かない	①ブレーキ金具のねじれ、曲がり ②バネの劣化 ③タイヤの摩耗 ④車輪の破損 ⑤連結部のサビ ⑥ブレーキワイヤーの折れ曲がり ⑦ワイヤー止めの位置ズレ	①ねじれ、曲がりを修正してください ②バネの交換（弊社サービス係へ） ③タイヤの交換（弊社サービス係へ） ④車輪の交換（弊社サービス係へ） ⑤注油する ⑥ブレーキワイヤーの交換（弊社サービス係へ） ⑦ブレーキの調整を行ってください （ブレーキの調整方法を参照）
キャスターが回転しない	①キャスターの回転軸に、土や砂が混入 ②バネの劣化	①キャスター（前輪）を手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに油を差してください ②バネの交換（弊社サービス係へ）
固定用ロックがかからない	①固定用ロック部の変形 ②車体の歪	弊社サービス係にて製品の修理または部品の交換を行います
その他、車輪の交換や車体の破損など		弊社サービス係にて製品の修理または部品の交換を行います

万一、破損・異常が発生した場合、または発見した場合は、そのまま使用せずに、弊社の点検・修理を受けてください。

※製品改良のため、仕様・外観は、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

MADE IN VITNAM 21.03



株式会社 島製作所

〒547-0001 大阪市平野区加美北3丁目12-5
TEL 06-6793-0991 FAX 06-6793-0992

